

2019 年度下期 内部監査室 原子力監査グループ 活動状況報告

内部監査室 原子力監査グループ

1. 業務品質監査 (2019 年度下期分)

(1) 定期

監査対象部門	監査実施期間 (2020 年 3 月末現在)	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
立地地域部	2019. 10. 24 ~ 2020. 2. 4	青森県における原子力事業推進に向けた理解活動に関する業務、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① それぞれの業務に応じて力量区分ごとに必要なスキルを部大共通で具体的に定めて見える化し、そのスキルの評価方法も上司評価や確認テストに分類して、力量評価における基準の明確化を図っていた。また、それぞれの業務に必要な教材等も記載していた。
内部監査室	2019. 11. 22 ~ 2020. 3. 19	福島第一原子力監査グループの品質監査業務、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① 監査企画書に監査の視点を明確にしていた。 ② 被監査側からの監査の充実度や是正/改善処置の有効性の評価が高く、充実度の高い監査が実施されていた。
廃炉推進室	2019. 12. 10 ~ 2020. 3. 23	セルフアセスメント、マネジメントレビュー、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① グループ業務計画策定時に「PEST 3C 分析 ^註 」に基づくブレインストーミングを実施し、グループメンバーの共通認識および自発的活躍環境を醸成していた。 注：情報収集・分析手法のことで、マクロ環境 (PEST) 分析と市場 (3C) 分析のこと。
内部監査室	2019. 12. 18 ~ 2020. 3. 31	福島第二原子力監査グループの品質監査業務、平成 29 年度に実施した原子力特別監査業務、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 ① 是正処置が必要な不適合は、不適合報告書に不適合の原因を記載すること。 【良好事例】 ① 什器内ファイルは、全て引き出し毎にナンバーリングを行い、業務終了時の所在確認と室外へ持ち出す際の持ち出し文書管理台帳でのチェックを行っていた。
原子力設備管理部	2019. 12. 25 ~ 2020. 3. 25	設計管理業務、エンジニアの力量向上施策、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① エンジニアの力量向上施策の内、系統勉強会については、対象者をグループに限定せず、部内他グループメンバーも受講可能とすることで部全体の力量向上に寄与していた。

【指摘事項】：法令や社内マニュアル等に照らして不適合な事象

【要望事項】：不適合事象ではないが、そのまま放置すると不適合となるおそれがあり、改善が望ましい事象

【良好事例】：他の発電所等においても参考になるような優れた活動等

(2) テーマ

件名	監査実施期間 (2020年3月末現在)	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
保安検査での指導・指摘事項の是正処置・水平展開、及び社外約束事項の実施及び管理の状況について	2019.10.8～ 2020.2.19	保安検査での指導・指摘や保安規定違反等の不適合に起因して規制当局や関係機関に約束したことが確実に実施され、再び同様の事例を発生させないような取り組みが行われているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 ① 不適合の恒久対策として作成したLCO逸脱基準補助シートおよび発話対象警報一覧表をマニュアルや運転操作手順書等に反映し管理すること。 ② バルブチェックリストのマスターデータへのアクセス方法、改訂管理、操作者の限定等のルールを策定すること。 ③ 施工企業の工事担当者以上に対して波及的影響に関する教育を入所時に実施することを施工企業に対して依頼すること。 ④ イントラデータベースの活用等により、当社と協力企業の双方が、指示文書で周知された所内ルールを確認できるように環境や手順を整備し、運用すること。 ⑤ 未完了の予防処置件名について、予防処置が完了していないことおよび完了させるための条件を保全統合マネジメントシステム上で明確にすること。あわせて、パフォーマンス向上会議(PIM)での決定を適切に管理するために、処置実施箇所の完了報告に対してPIMが完了しないと判断した場合の対応方法を明確にすること。 【良好事例】 なし

2. 原子力特別監査：対象なし

3. 2019年度上期報告時点、監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの

監査対象部門	監査実施期間 (2020年3月末現在)	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
廃炉資材調達センター	2019.6.6～10.7	廃炉調達改革グループ設置、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 なし
プロジェクト計画部	2019.8.19～11.14	品質強化に向けた取り組み(調達改善)、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 ① 「品質目標の達成状況の記録」として扱っている2018年度業務計画実績において、どの項目が品質目標か明示していなかった。 [対応状況：「文書化した品質目標の表明」を失念しないようにマニュアルを改訂し、併せて、OE(運転経験)情報で周知した。] 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① 廃炉関連施設の空調設備について、設備設計手法まで踏み込んだ標準仕様案を策定するとともに、その活用に必要なノウハウを習得するための勉強会を開催していた。
原子燃料サイクル部	2019.8.29～11.29	日本原燃事業の支援、使用済み燃料中間貯蔵事業の推進支援、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① 日本原燃に対して、カイゼン活動を導入するための事前準備を周到に行い、カイゼン活動導入に成功した。
原子力安全・統括部	2019.9.11～12.24	リスク管理業務の取り組みとプロセス改善、線量管理、並びに文書管理や教育・訓練等について、品質保証活動を適切に実施しているか確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 ① 毎日OE(運転経験)の中で紹介されたJIT(Just In Time)情報の事例を自グループ業務へ展開していた。

以上